

草の根・人間の安全保障無償資金協力

「ムワンザ県病院整備計画」

署名式

2014年9月22日



左から：ラファエル・ピリング・ムワンザ県病院院長、西岡周一郎大使、カリラニ保健大臣

9月22日、西岡周一郎大使とラファエル・ピリング・ムワンザ県病院院長は、「ムワンザ県病院整備計画」に関する41,816米ドル贈与契約を締結しました。これにより、草の根・人間の安全保障無償資金協力を通じて、基礎保健サービス供給の改善のため、貯水タンク5基及びソーラーシステム4基の調達と下水処理タンク1基及び8室のピットトイレを建設します。

ムワンザ県病院は、1981年に設立された国内で古い歴史を持つ病院です。場所柄、同病院へはムワンザ県やネノ県からの患者の他にモザンビークからも患者が集まります。患者数が増加する一方で、清潔な水や電力等の基本的なインフラ整備が不十分であるなど、様々な課題を抱えています。こうした課題により、効果的な基礎保健サービスの提供が困難な状況となっています。

署名式において西岡大使は、マラウイ政府による基礎保健パッケージ、保健サービスインフラの開発や様々な保健関連プログラムの導入を通じた保健分野改善に対する努力を賞賛しました。また、日本政府はグローバルヘルスを優先事項とし、様々な保健イニシアティブの導入や二国間での技術協力など、アフリカ諸国と協力しユニバーサル・ヘルス・カバレッジの向上に支援していく旨を発言しました。